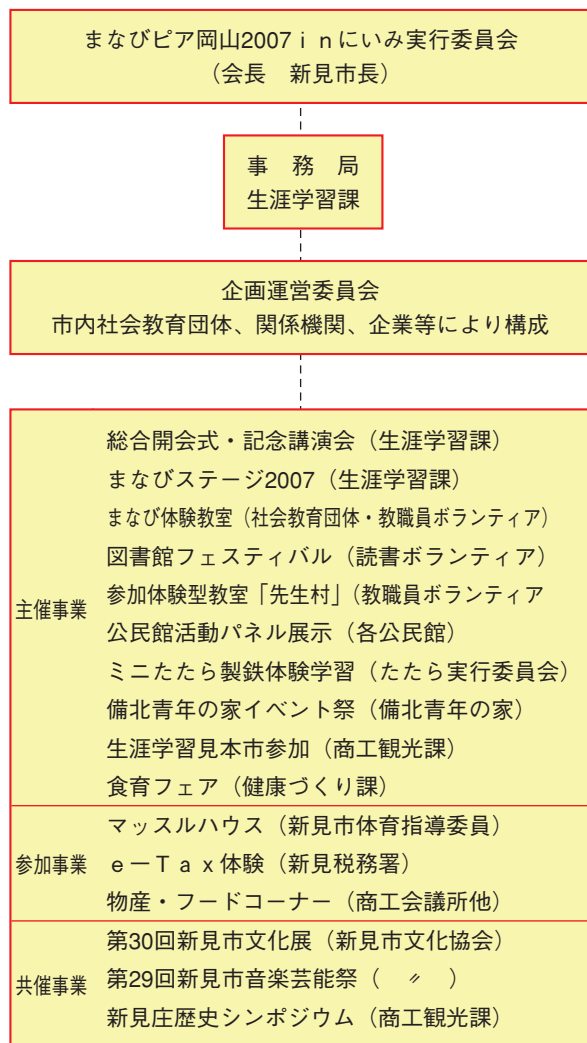


新見市

1 推進体制（組織図）

(1) 平成19年3月22日に新見市長を会長とする「まなびピア岡山2007 in にいみ実行委員会」（委員18名、以下「実行委員会」とする）を設置しました。

【組織図】



2 基本方針

(1) 子育て世代を対象

新見市では、子育て世代の親やその家庭、地域が、子どもの健全育成のため、子どもたちとの関わり方を学ばせ、きっかけ作りとして、親子で“あそぶ、まなぶ、チャレンジする”をテーマに各種事業を構成します。

(2) 学社連携の推進

学社連携の推進を図るために、市内の教職員にボランティア協力を広く呼びかけ、親子を対象とした事業の運営スタッフとして多数の教職員が参画します。

(3) 子どもたちの学習成果を発表

新見公立短期大学生の総合進行により、地域の伝承芸能（神楽・太鼓）、創作舞踊、バレエなど生涯学習活動の中で培われてきた子どもたちの学習成果を発表する機会「まなびステージ2007」を設けます。

(4) キッズボランティアの活用

総合受付・案内は地元FOS少年団が担当し、子どもたち自身が各種イベント案内を放送するとともに、「まなびピアの旅スタンプラリー」の受付を行います。

また、地元小学生児童によるお抹茶サービスコーナーを設けるなど、キッズボランティアの明るく元気な活動により、大会の雰囲気を盛り上げます。



3 企画運営・事業展開

(1) 企画運営

主催事業の企画・運営については、基本方針に基づき、実行委員会事務局と関係各団体とで、事業内容、運営主体、実施方法などについて調整を行いました。これを受けて実施事業を選定し、実行委員会において決定しました。

(2) 主な事業の展開

① 総合開会式・記念講演会

地元「ゆずりは太鼓」の太鼓演奏、開会行事に引き続き、記念講演会には朝日新聞編集委員の加藤千洋さんをお迎えし、「中国のくらしと周辺事情」を演題に中国の現況と人々のくらしの変化、周辺国への影響について講演をいただきました。

② まなびステージ2007

新見公立短期大学1年生52名が幕間に歌や手遊びを交えながら総合進行を手がけ、市内の小・中学生が、地域の伝承芸能（神楽・太鼓）、創作舞踊、バレエなどの学習成果を発表しました。



③ まなび体験教室

社会教育団体による親子ものづくり教室、教職員ボランティアによる電子工作「うそ発見器づくり」、「和紙のランプシェードづくり」を行いました。一般・中高生を対象とした電子工作には、小学校低学年の児童も親子で参加し、はんだごてを駆使しながら親子で協力して作品を完成することができました。

④ 参加体験型教室「先生村」

「科学村」5ブース「工作村」2ブース「英語の駄菓子屋さん」の合計8ブースに2日間のべ200余名の教職員及びA L Tが運営ボランティアとして参画しました。巨大シャボン玉や液体窒素実験、竹鉄砲やペットボトルロケット製作、英会話でしか買えない駄菓子屋など、どのブースも終日親子連れであふれていました。



(3) 実施事業

- ① 主催事業（9事業）
- ② 参加事業（4事業）
- ③ 共催事業（3事業）
- ④ 協賛事業（16事業）

(4) 運営協力団体

- ① 新見市F O S少年団連盟
総合受付・各種イベント案内の放送。
- ② 新見市婦人連合協議会
ボランティアスタッフの昼食サービス。

4 広報・啓発

(1) 新見市事業広報ちらしの印刷・配付

- ① 印刷部数
記念講演ちらし 3500部
保幼小向けちらし 3000部
- ② 配付先
市施設、関係機関・団体、小中学校、幼稚園、保育園、企業等
市内各地区回覧文書へのはせこみ

(2) 「まなびピア岡山2007 in にいみ」看板設置

告知用看板 まなび広場にいみ正面玄関に設置

(3) 市報・広報誌・ホームページへの情報掲載

- ① 市報にいみへの特集記事掲載
- ② 市ホームページへの情報掲載
- ③ 関係機関・団体等への情報掲載依頼

(4) 地元新聞社への広告掲載・取材要請

- ① 開催2日前の新聞1面下段への広告掲載
- ② 開催内容・プログラムの記事掲載

(5) その他

- ① 保育園・幼稚園の送迎時間をねらったマナビ着ぐるみによるちらし配布
- ② 県作成ちらし、ポスター、ガイドブック、のぼり旗等によるP R活動

5 成果と課題

(1) 成果

- ① 子どもの興味を喚起するイベント内容と、子どもを通じたP R活動により、子育て世代の多数の参加を期待したが、予想以上の親子連れで賑わい、子どもとともに楽しむ生涯学習“まなぶ、あそぶ、チャレンジする”を実践することができました。

特に、教職員ボランティアが、それぞれの学校園でP Rした効果が大きいと思われます。

- ② 校長会、小・中教育研修所各部会に対して事業の趣旨、教職員ボランティアの必要性、ひいては本市生涯学習の推進における学社連携の大切さを訴え、教職員のボランティア参加を呼びかけたところ、開催2日間でのべ200名に及ぶ教職員の協力を得ることができました。この大会が、市内教職員の生涯学習活動への積極的な参画のきっかけとなることを期待しています。

- ③ 本市で活躍する社会教育団体の活動を広く紹介する絶好の機会となりました。

- ④ 大学や市民団体の協力により、ステージ事業が実施でき、多くの来場者を集めることができました。

- ⑤ 相乗効果として、文化展・音楽芸能祭へ幅広い年齢層の方々が訪れ、来場者数も増えました。

(2) 課題

- ① 賑わった大会ではありましたが、事業推進の原動力は本市社会教育団体によるものとは言い難く教職員及び大学の力に頼るところが大きかったことも事実です。今後、社会教育団体への支援はもとより、新たな団体の育成、確保に努めなければならないと考えます。

- ② 岡山県は全市町村での初めての開催となりましたが、ガイドブックの大半は県主会場の催しの案内であり、規模・予算を含め、魅力的な事業内容が多く、本市のつたない事業と比較される中でのP Rは大変でした。わずかな予算を、少しでも事業費に回したいところでしたが、広報ちらしや地元新聞への広告費として使わざるを得なくなった実情もあります。今後のこの大会がもし、開催県全市町村で行われるならば、広報は各市町村で独自に行えるよう、予算面での配慮をお願いしたいと思います。

- ③ 子育て世代の参加者を生涯学習活動の参画者へと導くために、こうした機会を小規模でも続けていくことが必要です。

浅口市

1 推進体制

平成18年3月に、金光、鴨方、寄島の旧3町が合併し誕生した浅口市においては、同年5月に新市としてフェスティバル開催地となる意思表明をし、5月22日の県フェスティバル実行委員会において、市長が実行委員として委嘱を受けるとともに、浅口市がフェスティバル開催地として決定されました。

その決定を受けて市実行委員会を組織し、同年10月10日に第1回実行委員会を開催し、フェスティバル開催を通して生涯学習によるまちづくりをより一層推進していくこととしました。

<実行委員会構成>

・市長・市教育委員会教育長・市生涯学習推進協議会会長・市議会議長・市議会総務文教常任委員会委員長・市教育委員長・小学校長会長・中学校長会長・高等学校長・市体育協会会長・市文化連盟会長・市婦人協議会会長・市老人クラブ連合会会長・ボランティア連絡協議会会長・PTA会長代表・市体育指導委員協議会会長・市スポーツ少年団本部長・市青年団協議会会長・浅口市青少年育成活動協議会各支部長・市コミュニティ推進協議会会長・商工会会長・主任児童委員・青少年育成運動推進指導員・学識経験者・公募委員

計 37人

また、フェスティバル開催地としての主催事業及び加事業・協賛事業の取りまとめは、教育委員会各課・室、各団体・機関等の協力・連携を得ながら、浅口市教育委員会生涯学習課が行いました。

2 基本方針

浅口市では、フェスティバル事業の企画段階や事業実施の際に市民が直接かかわることができるようにするため、生涯学習関係団体など広い分野からの人選により市実行委員会を組織するとともに、3町合併前からの生涯学習推進の大きな財産である、

- ・市民自らが公民館講座等での学習の成果を活かし、学校内外での子どもの体験活動の支援を行う学習支援ボランティア活動
- ・先進的にすべての幼稚園、小・中学校に外国人教師を配置し、発達段階に応じたゲームや日常会話などの英語活動による国際理解教育

などの取組を全国に発信するために、フェスティバル事業のキーワードを「ボランティア」「学社連携・融合」「国際

理解」「英語活動」として参加体験型イベントを計画していくこととしました。

また、フェスティバル事業の中心となる市生涯学習推進大会においては、旧3町の地域の連携を深め、それぞれの地域の学習者の学習意欲を高めるとともに、市民による地域の活性化・地域社会づくりのより一層の推進を図るため、「ひとり一学習、一スポーツ、一ボランティアによる地域社会づくり」を大会テーマとすることとしました。

3 企画運営・事業展開

(1) 企画運営

事業の実施に当たっては、岡山県の基本理念及び事業展開の方針、そして本市の基本方針に基づいた事業の実施を検討するとともに、全国生涯学習フェスティバル開催期間と同時期に、既存の事業を実施する予定であった関係機関・団体等と調整し、事業内容、運営主体、実施方法等についての協議を行いました。また、市内の学校、国立天文台等とも連携した事業展開を図るべく協議を重ねました。

(2) 実施事業（13事業）

①英語で国際理解講座

日時：11月2日（金）18：30～20：30

会場：浅口市中央公民館

②天文講演会 「宇宙最前線 inおかやま」

<国立天文台参加事業>

日時：11月3日（土）13：00～16：00

会場：浅口市健康福祉センター

③サイエンス・カフェ ASAKUCHI

日時：11月3日（土）16：30～18：00

会場：カフェレストひととき（市健康福祉センター1F）

④親子ガーデニング体験講座

日時：11月3日（土）14：00～16：00

会場：浅口市金光町植木まつり会場

⑤浅口市フットサル大会

日時：11月3日（土）8：40～14：30

会場：浅口市フットサル場

⑥浅口市音楽フェスティバル

日時：11月3日（土）13：00～16：30

会場：浅口市ふれあい交流館サンパレア

⑦浅口市生涯学習推進大会

日時：11月4日（日）10：00～15：30

会場：浅口市中央公民館 他

内容：ヨットマン堀江謙一氏による記念講演会

鴨方東小学校児童による英語活動の紹介

ボランティア人形劇サークル 風の子による

舞台発表

公民館講座一日体験入学講座

公民館講座生による昼食テント村 等

⑧図書館ふれあいデー

日時：11月4日(日) 10:30～11:30

会場：浅口市立金光さつき図書館

⑨古本リサイクル市

日時：11月4日(日) 9:30～15:30

会場：浅口市立鴨方図書館

⑩オープンスクールデー

日時：11月2日(金)

会場：浅口市立金光吉備小学校 8:45～15:25

浅口市立鴨方東幼稚園 9:00～11:50

浅口市立寄島中学校 9:40～15:20

日時：11月6日(火)

会場：浅口市立六条院小学校・六条院幼稚園

8:45～12:30(ステージイベント 9:30～11:30)

⑪国際交流展示 あなたに届け！ハロー&ニーハオ ～友好交流都市からのメッセージ～

日時：11月2日(金)～6日(火) 9:00～16:00

会場：浅口市中央公民館

⑫まなびピア記念展示

<金光歴史民俗資料館記念展示>

日時：11月2日(金)～12月22日(土) 9:00～17:00

<かもがた町家公園記念展示>

日時：11月1日(木)～10日(土) 9:00～16:30

<阿藤伯海記念公園所蔵作品展>

日時：11月1日(木)～6日(火) 9:00～16:30

⑬公民館講座生、子ども体験教室生作品展

日時：11月2日(金)～6日(火) 9:00～16:00

会場：浅口市天草公園体育館

(3) 生涯学習見本市への出展

フェスティバル期間中、県の主会場となる総合体育館内での生涯学習見本市へ、市のブースを出展しました。

「ひとりー学習、一スポーツ、一ボランティアのまちづくり」をテーマに、生涯学習による地域社会づくりを進める人々のキラキラ輝く笑顔や、浅口市が誇る観光名所、植木・麺・海産物など特産品の紹介を行い、連日多くの来場者がありました。

(4) ボランティアスタッフの配置

市内各地でのフェスティバル事業実施に当たっては、文化協会写真部の皆さんに記録写真撮影ボランティアとして、また、生涯学習推進大会では、浅口市子ども会指



導者クラブの皆さん、県立鴨方高等学校生徒さん、要約筆記サークル「PENPEN草」の皆さん、岡山県聴覚障害者福祉協会手話通訳の方々、体験活動支援ボランティア「アジサイの会」の方々に運営ボランティアとしてご協力をいただきました。

(5) 協賛事業(9月～12月に開催)

- ・市民体育祭各会場
- ・市総合文化祭各会場
- ・市音楽祭各会場
- ・市体育協会スポーツ大会
- ・市文化連盟企画展
- ・市マラソン大会
- ・全幼稚園・小学校・中学校オープンスクール

計 20事業

4 広報啓発

(6月～12月)

○啓発のぼり旗、マスコット人形等を公共施設、学校園に設置

(9月～11月)

○市ホームページにてフェスティバル浅口市事業を配信

○協賛事業開催時における広報活動

(10月)

○ケーブルテレビの市行政広報番組にてフェスティバル事業の周知

(10月～11月)

○フェスティバル浅口市事業リーフレットを全戸配付、公共施設窓口を設置

○ガイドブックを各種団体の会合で配付、公共施設窓口を設置

○スタンプラリーチラシを全幼児・児童・生徒に配付、公共施設窓口を設置

5 成果と課題

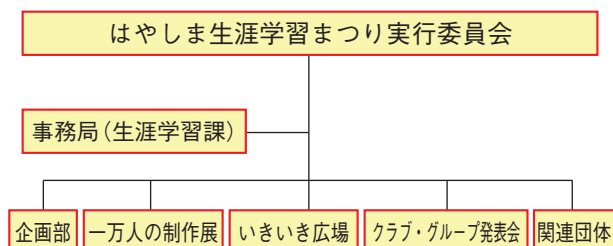
11月2日(金)～6日(火)の間中は天候にも恵まれ、市フェスティバル事業全体では市内外から約5千3百人の来場者を数えることができました。

これは、フェスティバル開催にともない市内の各機関・団体から多大なご協力をいただくことができたからこそ、また、市内の各施設の特徴を最大限に生かして、生涯学習推進大会を核として、天文講演会、ガーデニング体験講座、音楽フェスティバル、オープンスクールデーなど多方面にわたりフェスティバル事業を提供することができたためと考えています。そして、多くの方々から高い評価をいただけたことは、生涯学習の広がりを実感することができました。

今後とも、このような地域のよさに目を向ける取組を続け、市民自らによる地域社会づくりをより進めていくことができるよう支援のあり方を模索していきたいと考えています。

早島町

1 推進体制（組織図）



はやしま生涯学習まつり実行委員会（早島町フェスティバル実行委員会）は、既存の公民館まつりの実行委員会をもとに、フェスティバル市町村会場として新たな事業を創設する企画部と学校など関連団体を加えて、平成18年9月に結成されました。実行委員の中から互選により秋田晃二実行委員長ほか各役員が選出されました。

実行委員会では、広報や啓発、各イベントの実施計画などを話し合うとともに、様々な立場のボランティアや企業、役場職員などが協働で開催するフェスティバルにする構想について話し合いました。

早島町の推進体制の最大の特徴は、今後の事業継続を前提として、歴史ある公民館まつりの成果を継承しながら、企業や関連団体、役場の部局などが協働できる体制づくりを、町民主体の実行委員会で作り上げたことにあります。

そして、様々な立場のボランティアに支えられた推進体制を確立することができました。

2 基本方針

第19回全国生涯学習フェスティバルは、国民一人一人の生涯学習への意欲を高める全国的なイベントであり、岡山での開催は、早島町にとっても生涯学習の一層の振興を図るまたとない機会である。

そこで、早島町では、フェスティバル開催を契機に生涯学習によるまちづくりを推進するために、平成17年度から地域住民にボランティアの募集を呼びかけ、実行委員会に参画していただいた。その中で、今年のテーマを「明日への扉ひらいて～文化薫る、安全・安心なまち早島～」にすることが話し合われた。そして、早島町の歴史や文化、そして安全・安心に関する取り組みを中心に上げた特別展や講演会をフェスティバルのなかに取り入れることを決定した。

また、実際の事業展開においては、今までの公民館まつりの成果を生かしながら、企業や官庁・学校園にも広く参

加を呼びかけること、体験活動やステージ発表を充実させて、これまで生涯学習活動に取り組んだことがない人たちが、活動を始めるきっかけになる場を提供すること、さらに、このフェスティバルの成果が以後のイベントにも引き継がれるようにすることなどを話し合いました。

これらの方針にそって、従来の事業を充実させたり、記念事業を計画したりして、早島町の特徴を生かした事業を企画実施することになりました。

3 企画運営・事業展開

(1) 企画運営について

事業の実施に当たっては、各部会で協議したものを、実行委員会で、事業内容や期間・会場、実施方法などについて協議し、実施を決定しました。特に、実施にあたってはボランティアの位置づけを明確にし、事前に各部会で協議し協働で事業実施できるように配慮しました。また、企業や官庁の参加にあたっては、事務局である生涯学習課が窓口となり調整連絡を行い実行委員会の承認を得る形で、参加しやすい環境作りに努めました。

(2) 主催事業

① 菊花展

日時：10月25日（木）～11月10日（土）9：00～17：00

会場：早島町中央公民館 パーゴラ

② 早島町歴史民俗資料館 まなびピア岡山特別展

日時：10月25日（木）～11月6日（火）9：00～17：00

会場：早島町歴史民俗資料館

③ 一万人の制作展

日時：10月26日（金）～10月28日（日）9：00～17：00

会場：早島町中央公民館

④ 環境ポスター展

日時：10月26日（金）～11月4日（日）9：00～17：00

会場：町民総合会館「ゆるびの舎」2階展示コーナー

⑤ クラブ・グループ発表会

日時：10月28日（日）12：00～17：00

会場：町民総合会館「ゆるびの舎」文化ホール

⑥ 早島ゆかりの人芸術展

日時：10月28日（日）～11月4日（日）9：00～18：00

会場：いかしの舎



⑦第15回 いかしの舎写真コンクール

日時：10月27日(土)～11月4日(日) 9:00～18:00

会場：いかしの舎

⑧図書リサイクル市

日時：10月27日(土) 10:00～17:00

会場：早島町立図書館

⑨立石憲利氏 講演会

日時：10月31日(水) 18:00～19:30

会場：町民総合会館「ゆるびの舎」研修室

⑩堀川節子氏「おかやまの民話12選」原画展

日時：10月31日(水)～11月6日(火) 10:00～17:00

会場：町民総合会館「ゆるびの舎」研修室

⑪まなびピア岡山2007早島会場特別展

「文化薫る、安全・安心なまち早島」

日時：11月2日(金)～11月6日(火) 9:00～17:00

会場：早島町中央公民館 多目的教室



⑫まなびピア岡山2007 記念講演会&六段の調べを聴く会

日時：11月3日(土) 13:00～15:30

会場：町民総合会館「ゆるびの舎」文化ホール



⑬いい秋みつけた

日時：11月3日(土) 14:00～15:30

会場：早島町立図書館

⑭はやしま生涯学習まつり「いきいき広場」

日時：11月4日(日) 10:00～14:00

会場：早島町中央公民館 早島町役場職員駐車場 ほか



4 広報啓発

(1) 印刷物

① 早島町の広報紙「広報はやしま」に1年前から特集記事を掲載して全世帯に配布。

② 「はやしま生涯学習まつり」「記念講演会&演奏会」「万人の制作展」「クラブ・グループ発表会」のチラシを作成して全世帯に折り込み配布。

(2) 屋外広告物

早島駅前広場、早島町中央公民館、町民総合会館「ゆるびの舎」、いかしの舎などに「まなびピア岡山2007」のぼり設置。

(3) その他

① 早島町の主要イベントにマスコットのマナビイとともに参加して、啓発グッズを配布。

② プレフェスティバル(平成18年11月5日)の実施。

5 成果と課題

(1) 成果

期間中は天候にも恵まれ、延べ9千人以上の来場者でにぎわいました。特に、中心イベントである「いきいき広場」には多くの方が訪れ、模擬店や体験コーナーに多くの参加者が集まりました。ステージ発表も、ボランティア中心の運営で順調に進み、発表者・観客ともに満足していただくことができました。その他のイベントも、例年の参加者数を大きく上回り、町内外の方に生涯学習へ取り組むきっかけ作りができました。

また、フェスティバル開催を契機に生涯学習によるまちづくりを推進するに当たって、その理念に賛同してくださる町民の方々が、実行委員会の中心となって活躍してくださり、地域・学校・行政との協働に大きな力を発揮してくださいました。

この成果を、今後の生涯学習推進に生かして行くことが重要であると考えています。

(2) 課題

早島町の取り組みは、協働してくださった、町内のボランティアと官庁や民間企業の方々に支えられていました。今後の生涯学習を推進するに当たって、この関係をいかに継続・発展させていくかが、早島町のまちづくりの最も重要な課題であると考えています。